



WEEKLY REPORT

2010-2011 No.35 2011年4月7日

会長◆矢部房男 会長エレクト◆三宅 謙 副会長◆松井一郎 三宅 謙
 幹事◆石田 隆 SAA◆山本三津子 会計◆市川 浩 会報委員長◇坂井 宰
 E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp Website: http://www.zushi-rc.com/
 例会日: 第1・2・4木曜日 12:30~13:30 第3木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~
 例会場: 逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL: 046-870-6440
 事務所: 逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX: 046-873-0226

本日の進行(12:30)

内山智弘氏(逗子市消防署警備第一係長)「AEDについて」

一次回のお知らせ 4月14日(12:30)

山口次郎氏(株北斗工業)
「福島原発の現状」

《 第 2384 回 例会記録 2011年3月31日 》

出席報告	会員数40名(出席免除7名)	出席数27名	出席率77.14%	前回修正出席率78.39%
ゲスト	吉川 知恵子氏(弁護士・横浜西RC)			

■ 会長の時間 矢部 房男 会長

東日本大震災につきましては、その被害は惨憺たる状況に愕然とするばかりですが、早い復旧がなされるよう協力していきましょう。50周年記念事業「キマグレンコンサート」も、被災地支援として準備を進めておりますが、ローソンチケットの販売はほぼ完売のよ

うで、コンサート当日はあたたかい支援の輪が広がることを願っています。

本日のクラブ奉仕フォーラムには吉川知恵子さんをお招きしています。よろしくお願い致します。

■ 報告

石田幹事: *ロータリーの友4月号、ガバナー月信№10。
 *アムダ・ノエピア・RI2780地区合同医療プロジェクトの人的支援について。(のちに中止の連絡あり)
 *新天安 RC 金 PG より地震見舞いの手紙(石渡会員宛)。
安藤プログラム 5/19 米海軍司令部幕僚長ラッシュ大佐を招待。
鈴木(安)50周年 4/5 50周年実行委員会 19:00 哉吉

再入会希望岩堀恭一氏



渡邊雑誌委員長
Rの友4月号の紹介



■ ニコニコBOX 本日合計 ¥47,000 累計 ¥1,586,000

吉川知恵子様…今日はお招きありがとうございます。

よろしくお願いします。

矢部(房)君、山口君、湊屋君、松井君、岩瀬君、藤吉君、山本(三)さん、山本(由)君、葉山君…吉川様、卓話よろしくお願いします。

矢部(光)君、市川君…吉川様をお迎えして。

三宅君…吉川様、本日はありがとうございます。

奈良さん…吉川様、歌、期待しています。

草柳君…卓話期待しています。東日本大震災復興頑張ってください。

篤 君…奄美の墓参りで大震災を知りました。

鈴木(安)君…大震災で命を落として多くの人の命を

救った人に思いをさせ。

福嶋君…エスカレーターも止まり暗い駅、灯りの消えた自動販売機、これが現実だ。

安藤君…放射能測定器を台湾の友達よりプレゼントしてもらいました。

村松君…原発問題は当分続きそう。気持ちを切替えて。

渡邊君…Eクラブになりますよー。

村田君…岩堀君の再入会！めでたし。

高洲さん…遅くなり大変申し訳ございません。

鈴木(久)君…良い気候になりました。

毛利君…春は目の前迄。

臼井君…ハイランドの桜、ついに咲き始めました。

「魅力あるクラブ作り・親睦はロータリー活動の源」



吉川知恵子氏

横浜西 RC で昨年度は親睦活動委員長を、今年度は社会奉仕委員長と 2590 地区クラブ奉仕委員を務める。

弁護士・入会 4 年目

親睦活動委員長の仕事は、単に年忘れ家族会や、親睦旅行、夜間例会など各種親睦活動の企画・幹事役をすることではなかった。

第二の壁：親睦はロータリーにとってどのような意味を持つか。

親睦活動が活性化、楽しいクラブになったと感謝された。一方、楽しいだけがロータリーではない、肝心の奉仕活動が無ければ意味が無いという意見が聞こえてきて、自信喪失。ロータリーの友に「ロータリークラブにおける奉仕と親睦の関係は車の前輪と後輪にたとえられ、後輪とされる親睦は、活力を生み出し、ロータリーという車を動かすもの」とあり、すべてのロータリーの活動の源に親睦があると理解できた。

「ロータリーは奉仕する心を育む場であり、クラブとしての奉仕活動もするが、そうした奉仕の実践から学んだことを各会員の職業を通じて地域社会に奉仕することが大切であって、奉仕活動そのものを目的とする団体ではないといった意見もあった。

「楽しいだけではロータリーじゃないもしくりであれば、楽しくなければロータリーじゃない」

クラブの活性化：会員増強が第一であるが退会者を一人でも少なくすることに重点を置くべきで、これに親睦が果たす役割は大きい。

新会員には一日でも早くクラブに溶け込んでもらい、ロータリーとは何か、その意義を理解してもらおう。メンバーには新会員の趣味や嗜好をいち早く知ってもらい、孤立しないように努めた。メーキャップツアーを企画、新会員にメーキャップのやり方を覚えてもらった。1 週間で 5 つのクラブ、延 23 名。**親睦、クラブ奉仕の役割は、正にロータリーの奉仕の理念を奨励し、育成することという目的を具現化する一つの大きなフィールドである。**

第一の壁：多様なメンバーのニーズをいかにつかみこれに応えるか。

ロータリーほどメンバーの構成が多様な団体は無い。入会歴も職業歴も全く異なる、幅広い年齢層の方たちにどのように楽しんで頂けるかという問題。

長老や先輩方にとって居心地の良いクラブにしたい、多様な嗜好にも応えたい。

「日本一フレンドリーなクラブ」を目指す。

- ① 上質な大人のクラブにふさわしい、室内管弦楽コンサートを実施。
- ② 子どものいる家族が参加しやすい芋育て会を企画。畑を借り種芋植え、草取り、収穫の作業により子ども同士が仲良くなった。メンバーの酒屋さんの所で収穫の芋で焼酎を作り販売されている。人との出会いが思わぬ副産物を生んだ。
- ③ 家族旅行会：興味がありながらもなかなか行かない所 上田市戦没画学生の絵を展示している美術館「無言館」を目的地に、山奥の温泉・ワイナリー観光をセット、安価にする為に旅行代理店を使わずすべて自分で行った。22 名が参加。

【質疑応答】 鈴木(安)：クラブ奉仕についてこれほど明解・簡潔な説明は初めて。安藤・高洲：メーキャップツアーは素晴らしい。体験したい。村松：家族を巻き込む親睦は良い。参考になる。草柳：退会防止に共感。篤：欠席者のメーキャップに同伴した経験がある。・・・等

クラブ管理運営

矢部光治委員長

R の友昨年 6 月号「すご腕新会員」で吉川さんを知り、是非とも我がクラブで卓話をとらぶコール。



「会費と例会場」

Twitter
気分

私は 1982 年 (S57 年) に入会した。入会金 5 万円、年会費 24 万円、例会場は「なぎさホテル」(現・夢庵の場所)であった。木造のホテルの為消防法等に適さなくなり、著名人が存続の署名運動をしたが解体となった。1988~89 年度村上二郎会長 (第 28 代) の時に逗子マリナーに例会場が移り、年会費は 30 万円になった。同伴例会、親睦旅行等の追加負担金を原則取らず 17 年間続いた。しかし逗子マリナーの経営者がたびたび変わり 2005~06 年度松田守郎会長 (第 45 代) の時に現在のカンティエーナに例会場が移った。年会費 30 万円は続いていたが会員の減少は止められず本年度から入会金 3 万円、年会費 24 万円になった。会員の推移であるが 67 名が当クラブの最人数である。40 周年 (平成 13 年) の頃 60 名いた会員も、徐々に減り今年度は 39 名のスタートである。「ロータリーの友」の投稿を見ると、日本の会員の減少については「何でも会員増強の声に誰でも入会させたロータリアンのバブルがはじけて正常な姿に戻りつつある。ロータリー活動が出来ない人が入会していることが問題である」と記している。この投稿には考えさせられるのではないだろうか。

会報編集委員 矢部光治